

Audyssey、テレビメーカー向けオーディオ技術スイート、Premium Televisionを発表

新オーディオ技術により、テレビメーカーが悩まされていた音響の課題を解決

ベルリン--(Marketwire - 2011年9月2日) - IMAXシアター、家庭用テレビやカーオーディオの音響技術で知られるAudysseyは、ベルリンで開催されているIFA 2011エレクトロニクスショーで、テレビメーカーのテレビ音質向上を可能にするオーディオ技術スイートのAudyssey Premium Television Suiteを、本日発表しました。

プラズマ、LCD、LEDなどのテレビの開発により、テレビ画面は大型化し、サイズは薄型化してきました。映像の品質は改善されてきましたが、テレビ内部のスペースが小さくなっていったことにより、音質の面では課題に悩まされています。軽量の素材によりテレビが軽量化されていることも音質への問題を大きくするだけでした。つまり、高画質になるほど、音質への影響が大きく、音質が低下しています。

「今までのテレビのオーディオ機能というものは、その大部分が、テレビ音質の真の問題を隠すごまかしのようものがほとんどでした。Audysseyでは、これまでの技術とは別のアプローチを取りました。つまり、音響の課題とTVにおける制限を洗い出し、問題となる部分を除去する技術を生み出したのです。我々は、オリジナルのコンテンツに何かを追加するのではなく、問題を除去しています。我々のアプローチでは、それぞれのテレビモデルのコンテンツ再生が改善され、オリジナルに近い音を体感できるようになりました。」と、Audyssey CTOのChris Kyriakakisは述べました。

Audyssey Premium Television Suiteは、テレビ本体の音響問題に起因するこもり音を解決し、小型のスピーカーの低音再生の帯域を物理的に拡張し、音量を上げた際に発生する歪みをすべてブロックすることでより大音量での再生を可能にします。テレビの再生音量(ダイナミックレンジ)によりよくフィットするように、コンテンツの再生音量を正確にコントロールして再生することが可能です。

Audysseyは音響分野に深く根ざした企業で、IMAXシアター、自動車、ホームシアターAVR、モバイル機器などのサウンドを向上する技術を開発してきました。最近では、テレビの音質改善という課題に対応するため、多くのテレビメーカーがAudysseyに注目するようになりました。今日のテレビは凸凹のないなめらかなデザインにフィットさせるため、多くの場合、スピーカーはテレビの裏や下などの見えない場所に隠されています。このため、オーディオ出力は完全には最適化されていませんでしたが、Audysseyの技術はこのような設計特有の機能低下を克服しています。

Audyssey Premium Television Suiteは現在、テレビメーカー向けに販売されています。Premium Television Suiteを搭載した製品が消費者向けに発売されるのは、来年の予定です。

Audyssey Laboratories™について

オーディシーは世界有数のオーディオ研究機関を母体として2002年に設立され、革新的なオ

オーディオ技術・製品の開発を行っています。その技術は多くのAVレシーバーをはじめ、IMAXシアター、テレビ、カーオーディオや携帯電話など、様々な分野で採用されております。詳しい情報は<http://www.audyssey.jp>をご覧ください。

情報請求先:

山中幹大

Audyssey Laboratories Japan

myamanaka@audyssey.com

Audyssey、最新技術のPersonal Surroundを発表

革新的アプローチにより、ヘッドホンとフロントスピーカーのサウンドをブレンドし、まったく新しいサラウンドサウンドを実現

ベルリン--(Marketwire - 2011年9月2日) - IMAXシアター、家庭用テレビやカーオーディオの音響技術で知られるAudysseyは、特別設計のヘッドホンとスピーカーのオーディオをブレンドする新しい技術、Audyssey Personal Surroundを本日発表しました。スピーカーを追加することなく、全く新しいサラウンドサウンド体験が可能になります。

サラウンドサウンドには2つの重要な要素があります。音による包み込みと定位です。スピーカーシステムは優れた定位を提供しますが、包み込むような感覚を生み出す環境を実現するには非常に多くのスピーカーを必要とします。現在のサラウンドシステムでは、室内に5~11台のスピーカーがあります。この場合、リスナーから少し離れた距離でシームレスなサラウンド環境を作り出せますが、誰かが耳元でささやいているような、すぐ近くの音は再現できません。一方、ヘッドホンは、リスナーのすぐ後ろから包み込まれるような環境を生み出し、人のすぐ近くで発生するようなサウンドに使用することが出来ます。前面からの音や会話は、画面上ではなく、「頭の中で」聞こえるように感じがちです。Audyssey Personal Surroundでは、これまでに無い新しいサラウンド体験を実現するため、スピーカーとヘッドホンのサウンド再生を正確にブレンドする音響特性と聴感特性を両面から考慮した新しいアルゴリズムを使用しています。

Audyssey Personal Surroundは最初に3Dテレビに搭載される予定です。特別に設計されたヘッドホンと、テレビの内蔵スピーカーを組み合わせることにより、5.1チャンネルサラウンドサウンドを提供します。Audysseyのヘッドホン設計により、リスナーは、部屋で他の人と離れて座らなくても、サラウンドコンテンツを楽しむことができます。このアプリケーションはホームシアターAVRにも搭載される予定で、ステレオまたはサラウンドスピーカーシステムでの使用も可能なソリューションです。更に、この技術はテレビゲームにも適用が可能で、キャラクターが耳元で話したり、すぐ近くで音が聞こえたりといった新たなサラウンド体験を味わえます。

「今まで、3Dサウンド関連の開発研究努力はすべて、2つのフロントスピーカーを使って、リスナーの周りの仮想スピーカーを生み出すことに集中していました。これらの手法では、リスナーがひとつの場所に動かずに座っていないといけないため、実用には向いていません。頭を動かすだけで、効果はなくなってしまいますから。ヘッドホンベースの3Dオーディオについても、それぞれのリスナーの耳の大きさを正確に測る必要がありますので、まったく実用的ではありません。Personal Surroundではこれらの制限を克服し、さらに没入できる体験を提供しています。」と、Audysseyの創業者でCTOのChris Kyriakakisは述べました。「このPersonal Surroundの技術により、コンテンツ内のそれぞれのサウンドの距離をコントロールできるという創造的なオプションをコンテンツクリエイターに提供することが可能になります。」

ベルリンで開催されているIFA 2011では、Audyssey Personal Surroundのメーカー向けデモを実施しています。また、来年前半には、コンシューマー向け製品の発売に関する発表を予定しています。

Audyssey®について

オーディシーは世界有数のオーディオ研究機関を母体として2002年に設立され、革新的なオーディオ技術・製品の開発を行っています。その技術は多くのAVレシーバーをはじめ、IMAXシアター、テレビ、カーオーディオや携帯電話など、様々な分野で採用されております。詳しい情報は <http://www.audyssey.jp> をご覧ください。

情報請求先:

山中幹大
Audyssey Laboratories Japan
myamanaka@audyssey.com